



明治大学校友会

市川地域支部会報

まつかぜ

臨時号

2021年

夏(8月)

明治大学校友会千葉県西部支部市川地域支部

令和3年 会員皆様の 近況メッセージ!

発行: 明治大学校友会

千葉県西部支部市川地域支部

〒272-0832 市川市本曾谷4-7-7

発行人: 伊与久 美子



※ 会員皆様より、寄稿して頂いた近況メッセージ・コメントを臨時号にて掲載させて頂きます。

明治大学校友会市川地域支部会員の皆様、
いかがお過ごしでしょうか !



明治大学校友会市川 地域支部

支部長 伊与久 美子

(昭和42年 文学部卒)



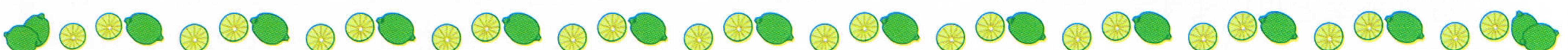
ようやくワクチン接種の環境も整ってまいりましたが、まだまだ厳しい日々は続きそうです。
どうぞ最善の対応に努められ、より安心・安全な日常をお過ごしくださいますよう、切に願っております。

さて、先般 明大評議員会に出席いたしました。 時節柄、書面審議での対応が続いていた会議ですが、この度は、長引くコロナ対策の多くの課題の中で「大学の健全運営と学生支援」という大命題に必死に一丸となって取り組む関係者の皆様へ、感謝と敬意を表したく、久々の母校訪問となりました。 終始、会議の端々に明大の力強い躍進を感じ取れる充実した評議員会でした。

我が明治大学の学生たちは幸せです！ 学校に、校友会に、父母会に、更に多くの支援団体に手厚く守られています。 市川地域支部の皆様にもあたたかいご支援をいただき感謝申し上げます。

私は今日も元気です! 皆様と共に「紫紺のマスク」のもと、明治の気概に燃えてこの試練を乗り越えてまいります。 また元気にお会いできる日を楽しみにしております。

※なお、柳谷理事長と北野校友会会长から全国の校友に対し、メッセージビデオが届いており、市川地域支部のホームページにのせてありますのでご視聴ください。



「明治は一つ！」 「コロナに負けない！」
 「心は一つ！」 「同心協力！」
 「個を強く」 そして「前へ！・前へ！」



残念な、
お知らせ!

新型コロナによる緊急事態宣言の状況下により、
今年度も、恒例の夏の「ボウリング&暑気払い」は、
中止と致します!

新型コロナウイルス禍の校友会の情報については、

同封しております千葉県西部支部だより(第17号)を、

ご覧頂ければと思います!

佐川 清 (昭和33年 経営学部卒)



皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナが発生以来校友会の活動も全く無くなり、皆様にお会いする機会も無くなり大変さみしい思いをしております。

わが身を思えば基礎疾患もあり、年でもありますので自粛を余儀なくされテレビを眺め、パソコンをいじっている毎日です。先日ワクチン接種も2回目が済みやや安心しております。

一日も早くコロナ禍が収束し皆様にお会いできる機会が来るのを楽しみにしておりますが、もう暫くかかるのではないかと思われます。お体に気をつけて頑張って下さい。

皆様の元気なお顔を見るのを楽しみにしております。

伊神 玲子 (昭和27年 商学部卒)



会員の皆様 そしてご家族の皆様お元気で御過ごしでしょうか?

この二年 多発する自然災害や蔓延する コロナ感染症等で、皆様とお目にかかる事が出来ません。せめて御家族の方々はどこに居ても楽しく過ごして行きましょう。

私事ですが、毎月15日は東京浅草 浅草寺の五重塔に参拝しておりましたが、去年から一度も行っておりません。

それこそ「三定の天ぷら」雷門の「雷おこし」等食していません。なつかしいです。

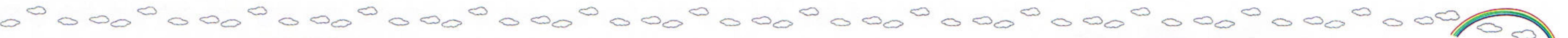
話は変わりますが、NHKの大河ドラマ「青天を衝け」の主人公 渋沢栄一は、東京都北区滝野川小学校を建てた人です。私の母の母校です。紙のお金(紙幣)もその一つで、敬服しております。

今年は、東京オリンピックが開催されます。バッハ会長が歴史に残る大会の一つと言われてましたが、本当にそうですね。この様な時代に生をうけ一日一日を大切に生きている事が幸思います。

人生100年の時代です。皆様と二年もおめにかかれていませんが、先日の大きな虹の様に美しい夢をもち、皆様と一日も早くお目にかかる事を願っております。

コロナに負けない!これからは熱中症にも負けない毎日を送りましょう。

最後に、幹事の皆様、いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いします。



ボランティア活動

井上 喜久男 (昭和42年 経営学部卒)

早いもので全国校友千葉大会を開催して2年6ヶ月たちました。全国から3,000名を超える校友たちが千葉に来ていただきました。事務局の一員として盛会に開催できましたのも皆様のご支援のお陰です。

11月には大学時代クラブ活動していた広告研究部創立100周年記念式典をOB・OG会長として開催し数多くの来賓と300名を超えるOB・OGが参集し盛会に行うことが出来ました。

昨年からの新型コロナにより、香川大会も中止になりました。

新型コロナは未だ収束しませんが、地域ボランティアである、市川善行会で頑張って生きたいと思いますので宜しくお願ひいたします。



千葉 昭司 (昭和32年 政経学部卒)



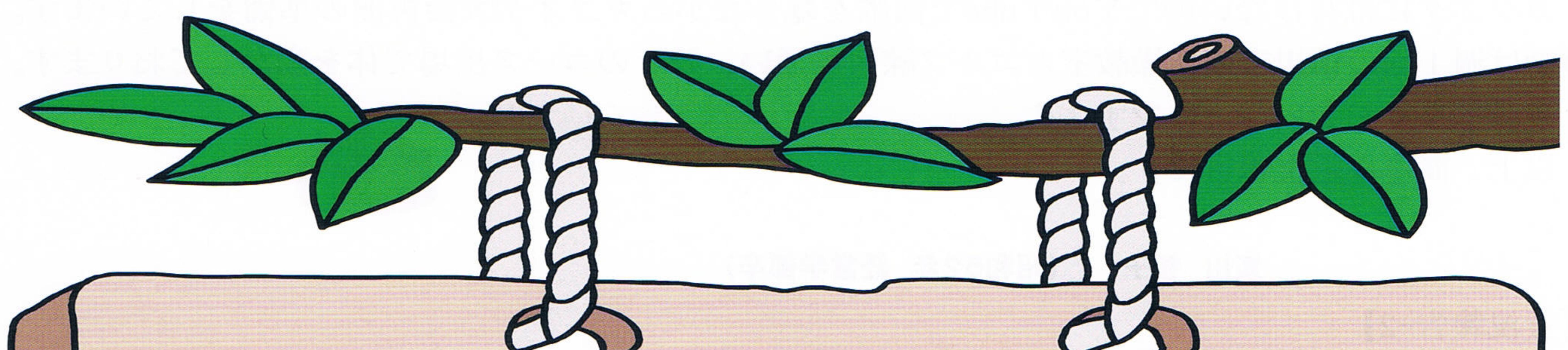
この度は 総会並びに年間の支部活動等についての一連の書類をお届けいただき有り難うございました。

先の見えない巣籠り生活に辟易し 疲弊し切っていた處へパワーを注入していただき有り難うございました。

とりわけ支部長のご挨拶文には校友への励ましや結束のメッセージが込められており実に時宜を得た内容で大いに元気を貰いました。

必ずや現代医学がこの難局を克服し、又 以前の日常を取り戻し 皆さんとご一緒できる日が来る信じて頑張りたいと思った次第です。

非常事態下の支部運営に ご尽力いただいている執行部の方々のご苦労に心から感謝しております。有り難うございました。

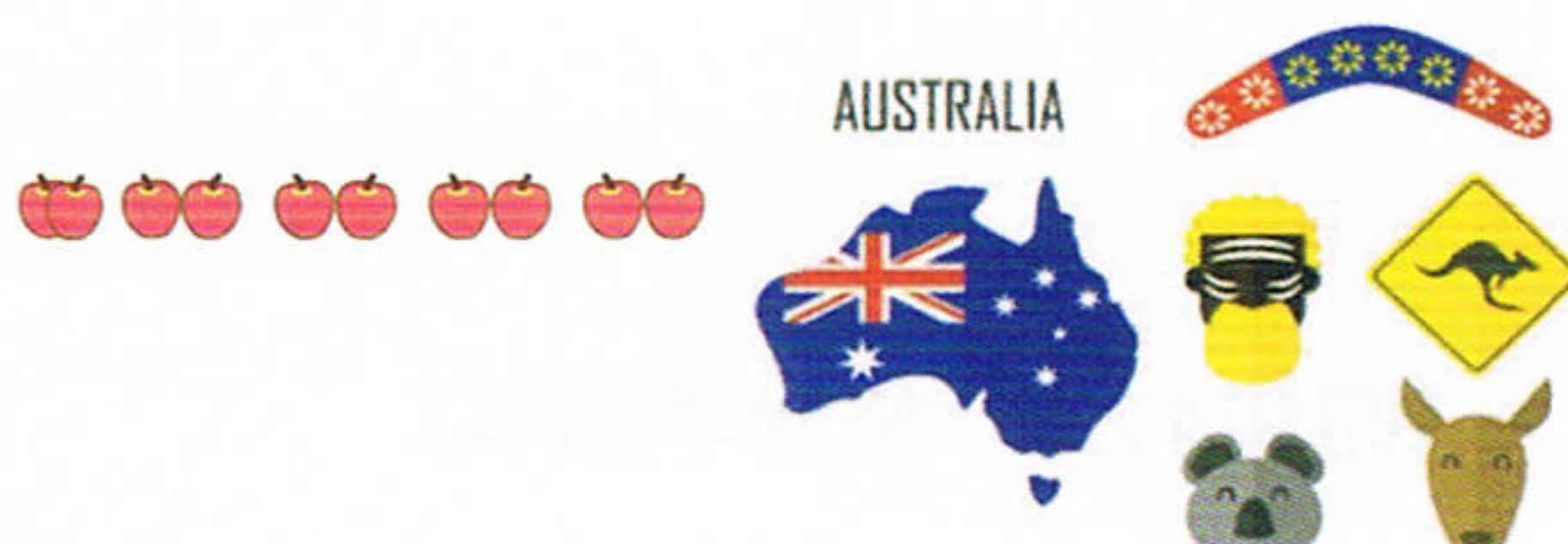


市川地域支部の最新の情報は、

市川地域支部のホームページで、

是非とも、閲覧をお願い致します！

※また、2021年5月に送付致しました。支部の第17回総会資料等も参照下さい。



河野 忠晴 (昭和42年 農学部卒)

後輩に豪州での畜産研修の機会をと考え3年前よりスタートし春・夏の休みを利用し約1ヶ月間、学生は現地の畜産農家に宿泊し実習生活を送っています。コロナ禍で研修計画は中断していますが状況を見て再開を考えています。

近日中に生田校舎にて研修の説明会を開催し具体的な希望者数がまとまれば双方の関係者との連絡等で多忙となりそうです。学生時代の海外での研修機会は貴重な体験となりこの研修内容をさらに充実させたく考えています。



橋詰 一彦 (昭和42年 政経学部卒)



2~3年前より急に体力が落ちるのを感じております。

今迄 出来た事が出来にくく成り、時間が掛るとか声が低く成り、息がつづかなく成るとか。

健康第一



これでは カラオケ支障をきたす！



笈川 英明 (昭和52年 経営学部卒)



【近況報告-1】

コロナ過がなかなか終息せず、ストレスが溜まる毎日が続いておりますが、まだ生存しております。体調管理対策としては、こまめなアルコール補給（ビール・純米酒・ワイン・ハイボール他）を家飲みで毎日実施しています。

カラオケには行けないのでYouTubeで演歌を聴きながらカラオケ大会再開の準備をしています。運動は週1回の市川市の体操教室とゴルフ練習場通い、時々のコース出場で体を動かしております。

皆様に早くお会いしたいです！！

以上 簡単な近況報告です。



笈川 智子 (昭和52年 経営学部卒)

【近況報告-2】

コロナ過がなかなか終息せず、ストレスが溜まる毎日が続いておりますが、元気で活動しております。

勤務先が近所の内科医院のため、現在はコロナワクチン接種の対応（主に事務処理業務）で毎日超疲れて帰宅しております。趣味のママさんバレーも昨年から休止しており馬体重増加が気になりますが、好きなビールは健康管理上、休止するわけにはいきません。

一日も早く皆様とお会いして明大校歌を歌いたいですね。

ファイト1発チーム明治です！！





新しい生活に向け、自己管理
マニュアルを作り実行しよう！

伊与久 剛史 (昭和42年 文学部卒)

2019年、中国で発見された「新型コロナウィルス」。以来2年余り、仲間との月2～3回の会食会（酒飲み会）やカラオケ会、ゴルフコンペ、そして自由に行き来ていた孫（長野県富士見町）や妹（山梨県北杜市）との交流も制限されるなど年金生活者のささやかな楽しみが奪われ空しい生活となっている。

また現在のライフワークとなっている自治会活動や地域活動など人とのふれあいも全く無くなり、健全な社会生活の維持が困難でストレス障害に陥りがちの環境に囲まれています。

しかし、そんな中でも自分を見失わず健康を維持するのは、「よく食べ」、「よく眠り」、「よく動き」、「よく笑う」、そして「何事もプラス思考で過ごすこと」だそうです。

新型コロナ終息後、楽しい生活に戻れるよう、お互いに今からしっかり自己管理マニュアルを作り実行してまいりましょう。

※ コロナの語源はウィルスの突起がギリシャの王冠「corona」に似ている所から名付けられたそうです。



土屋 彩希 (平成27年 情報学部卒)



昨年6月に第一子長女を出産しました。

コロナ禍の中、不安の多い出産までの期間を過ごしましたが、校友会の皆さんをはじめ、たくさんの方々に支えていただきました。改めて周囲の方々に対してお礼と感謝を申し上げます。

早いもので、長女も一歳になりました。コロナ禍が収束し、穏やかな日常が戻ることを願いながら、一日でも早く、校友会の皆様にお会いできる日を心待ちにしています。



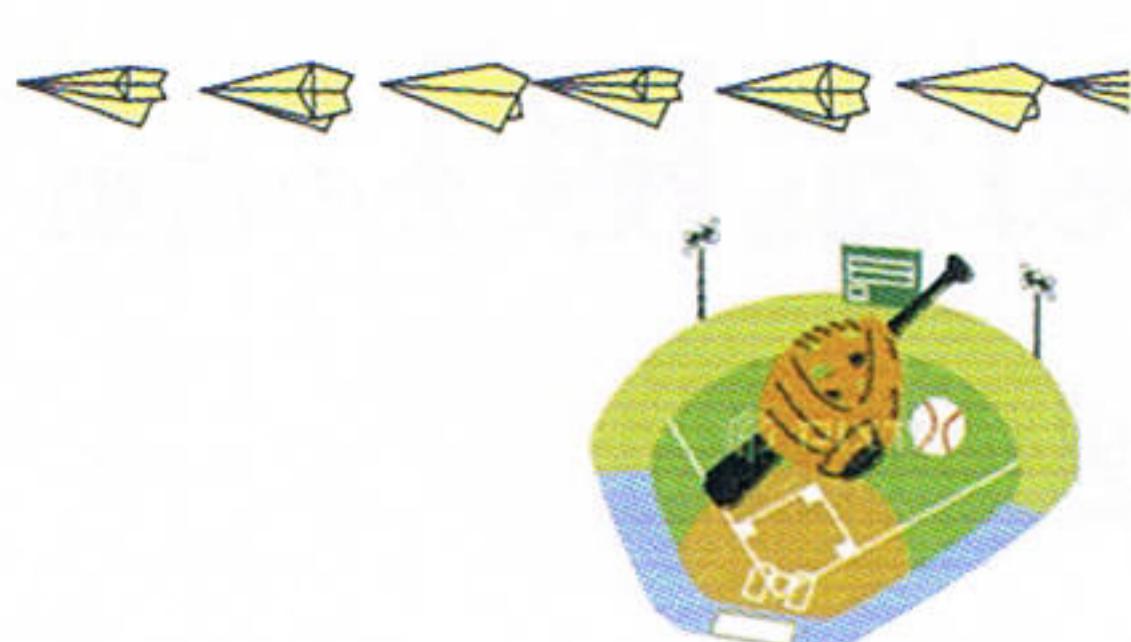
登坂 一郎 (昭和45年 政経学部卒)



横に流れたりステップを踏んで相手をかわすことはしない明治ラグビー。

明治法律学校の法典論争からの伝統は「愚直に前へ」の心にも受け継がれています。他者との適正な距離で得られる「個の独立」が市民的成熟の基礎です。明治時代から昭和初期までの青年は、正義感や理想主義のような「青臭さ」と共に大人と伍していく社会的能力や経験を有していました。

昨今の少子高齢化社会では幼児的な老人と老人的な幼児が増えて、子供と大人の中間的存在としての青年が減少しています。地域社会の豊かな未来のために、50代前半を過ぎた明治OB・OGには、一定の比率で青年を育てる責務があると考えます。



ハイキング同好会の皆様

コロナ禍が終息に向かい、早く、都内ハイキング・東京六大学野球観戦・ラグビー観戦を企画を出来ればと思っております。

ハイキング同好会 会長 登坂 一郎





中原 忠良 (昭和46年 経営学部卒)



校友会の皆様、新型コロナウイルス禍の中、元気にお過ごしのことと存じます。昨年2月2日の新年会以来、早1年4か月が過ぎ校友会の活動もままならず、残念な限りです。

近況報告ですが、早朝ウォーキングをしながら途中の神社で掃除、参拝。1日5~6時間の仕事を週2~3日。そして週1回、娘(柏市)の所で孫、9才男、4才女、1才女の遊び相手。それと月1、2回先輩方とゴルフ。以上が主な内容です。

コロナワクチン接種も7月中旬に終了できる予定です。今後まだどうなるかわかりませんが、早く活動が再開でき、元気な姿で皆さんに会える日を楽しみにしております。

それまでくれぐれもお身体にご注意を。

カラオケ同好会の皆様、

お元気でお過ごしのことと思います。新型コロナ禍で会の活動もままならず、早一年半が過ぎました。



が、終息にはまだまだ時間を要しそうです。再開までくれぐれもお体ご自愛と歌の練習も怠りなく、元気な姿でお会いできるのを楽しみにしております。

カラオケ同好会 会長 中原忠良



高橋 一郎 (昭和52年 工学部卒)



先日、久しぶりにゴルフに行きました。スコアは散々でしたがとても楽しかったです。
やっぱりゴルフは最高!

コロナが落ち着いたらコンペを開催したいと思っていますのでよろしくお願ひいたします。

(ゴルフ同好会 会長 高橋一郎)



阿部 千尋 (昭和56年 法学部卒)

東京オリンピック開催日の次の日に、前の会社の大先輩が市川駅に来られたので、市川市の案内をかねて、初めて市川市アイ・リンクタウン展望施設に行き、360度のパノラマで市川市街、江戸川の流れに沿った関東平野を眺望。

いつも下界の風景を眺めると、地位も名誉も金もない身の上、下天での時の流れと比べれば世俗は偽きもの(東京の中野無線学校から、戦時の徴兵で満洲に行っていた故父が語っていた、立って半畳、寝て一畳)と感じてしまうのは、私だけなんだろうか?

第二のふるさとが市川となり、明大校友会市川支部で多くの方々とお近づきも出来、これからも上京(愛媛県の伯方島-伯方の塩!より)後、知己になった方々と愉しく過ごせればと思う日々です。

早くコロナ禍が終息し、皆様にお会いできる機会が来る事を願っております。



編集雑記



今回の臨時号にあたり、近況メッセージ・コメントを寄稿して頂いた会員の皆様には、お礼を申し上げます。原稿の受け取り(FAX・メール・手紙等)の都合上もあり、掲載については、順不同・敬称略となっていますので、ご了承下さい。

また、市川地域支部のホームページは、逐次内容が更新されており、校友会の活動状況がタイムリーにご覧いただけます。

是非とも、市川地域支部のホームページを閲覧して頂ければと思います。

(by Chihiro.阿部)

